

3. どこで調べたの？

川崎港では、大きな船が出入りするため水深が深く、荷下ろしがしやすいように岸壁は垂直です。また、港の中は大小の運河が入り組んでいます。そして、川崎港の東側には多摩川が流れ込んでいるため、川の近くでは

汽水域（海水と淡水が入り交じるところ）となっています。

このような川崎港の中と外側、そして多摩川の河口で生きもの調査を行いました。

出典：川崎市港湾局ホームページより



生きもの調査をした場所